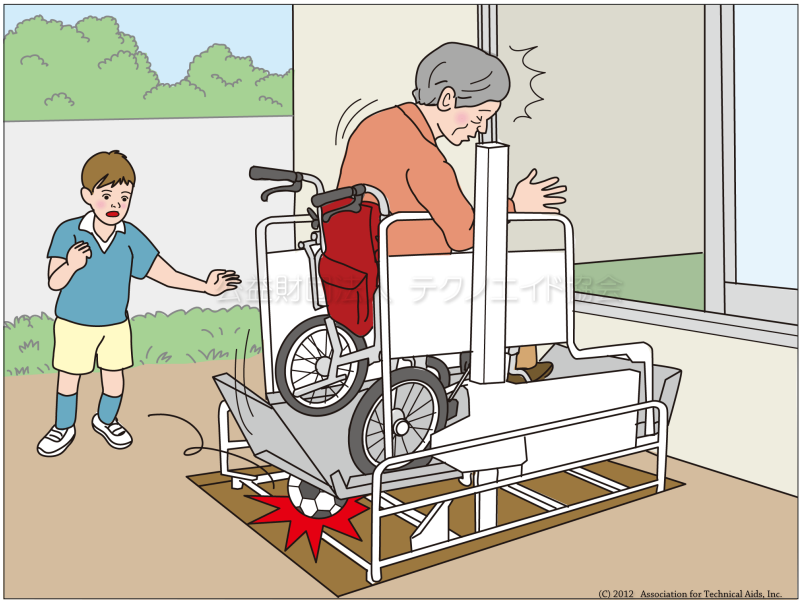
Case：291

## ボールが挟まれていることに気づかず、テーブル面が傾いて転落しそうになる

### 場面の説明

段差解消機を使用中、近くで子どもが遊んでいたボールがテーブル下に入っていたことに気づかず下降したためボールを挟んでしまい、テーブル面が傾いて転落しそうになった




| | |
|---|---|
| 利用シーン | リモコン操作<br>階段の昇り降り |
| 主な利用場所 | 階段<br>玄関<br>段差・縁石 |
| 介護保険の種目 | 移動用リフト（つり具の部分を除く） |
| 分類コード(CCTA95) | 183006(段差解消機) |
| 介護テクノロジー | ― |
| 二次元バーコード | |

### 解説

介護保険でレンタルされる機種は、基本的には床面に固定されてはいないので、テーブル下に障害物があるとそれに乗り上げ、バランスを崩す恐れがあります。子どもやペットのいる家庭では、テーブル下に異物が入り込む危険性も高くなると思われますので、蛇腹でテーブル下を覆っている機種など、安全性の高い機種を選定することをお勧めします。

### 参考要因

人：死角になっている箇所に注意がいかなかった
人：危険な場所であることを子どもに伝えていなかった
モノ：安全装置がない段差解消機だった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.